

平成 30 年 4 月 20 日

Information

公益社団法人 全日本広告連盟
〒104-0061
中央区銀座 7-4-17(電通銀座ビル 7F)
TEL. 03-3569-3566 FAX. 03-3572-5733

記者各位

第12回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」に 「地域包括ケアネット ささえ～る+」新潟・認知症啓発キャンペーン 『つなぐ広げる オレンジの輪』

第 12 回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」が、3 月 28 日に開かれた同賞選考委員会にて、「地域包括ケアネット ささえ～る+」新潟・認知症啓発キャンペーン『つなぐ広げる オレンジの輪』を実施した新潟広告協会に贈賞されることが決まった。

両賞は全日本広告連盟（大平明理事長）加盟 9 広告協会 14 作品の応募の中から選出されたもので、4 月 20 日に開催された全広連の平成 30 年度第 1 回理事会にて承認され、5 月 16 日の第 66 回全日本広告連盟秋田大会式典の席上、贈賞される。

キャンペーンの概要、贈賞理由は以下の通り。

■第12回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」

タイトル／「地域包括ケアネット ささえ～る+」新潟・認知症啓発キャンペーン
『つなぐ広げる オレンジの輪』

表 彰／株式会社新潟日報社 実施／株式会社新潟日報社 応募／新潟広告協会

◆キャンペーン概要・贈賞理由

『つなぐ広げる オレンジの輪』は、新潟日報社が地域包括ケアシステムについての情報プラットフォーム「地域包括ケアネットささえ～る+」の従来からの展開に加えて、団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年問題を前に、全国で 700 万人を超えると推計される認知症について正しく知り、本人と介護者を支える地域づくりへの参加を呼び掛けるキャンペーンとして企画した。認知症の人と家族、医療と福祉の専門職らの「現場」をすべての起点に、認知症をめぐる最新の状況を伝える紙面と事業を展開。特に若い世代の関心喚起が課題と捉え、大学生のキャラバン・メイト養成と修了者による小学生向け認知症サポーター養成講座の実施を柱の一つに位置付けた。イメージカラーのオレンジは認知症対策の国家戦略「新オレンジプラン」に由来し、シンボルマークも認知症サポーター養成講座を受講した人に贈られる「オレンジリング」をイメージ。第 1 期となる 2017 年度は 26 社の協賛を得た。

紙面展開では、朝刊シリーズのカラー紙面を 7 回掲載。シリーズに統一感を持たせ明確なメッセージを発信するため、オレンジを背景にし、「一人ひとりが、サポーター。」の統一コピーと、体現する方たちを多数切り抜き写真で登場させた。新媒体「おとなプラス」でも連動紙面を掲載し、Web サイト「地域包括ケアネットささえ～る+」には、バックナンバーを掲載している。

事業では、感受性豊かな若い世代への啓発を目指し、大学生のキャラバン・メイト養成と、大学生による小学生向け認知症サポーター養成講座を実施。パネルトークの開催、映画上映に加えて、認知症の人が見ている世界をバーチャルリアリティー(VR、仮想現実)で体感する最新機器の体験会を県内で初開催し、認知症の人の恐怖や辛さを体感した。

「認知症になると何も分からなくなる」などの無理解や偏見の払しょくと、認知症にやさしい地域づくりへの機運を高め、若い世代への意識醸成の契機ともなった。県外にも取り組みが周知され、関係者団体や県など行政機関からも評価を得た。

「認知症」という、日本全体が抱える課題に対して、伝わりやすさを大切にしたコミュニケーション表現を用いた、多方面からの志の高い取り組みが高く評価された。

【全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞とは】

全広連三代目理事長・鈴木三郎助氏からの寄付金を基に平成19年度より実施している全広連顕彰。地域の活性化に貢献した優れた広告キャンペーンを顕彰することにより、フォロワーを生み出し、各地の地域活性化に貢献する広告キャンペーンが多数生まれることを目的に、全国各地で展開されたさまざまなキャンペーン活動の中から最も優れたものを顕彰している。また、広告活動の中でその業績ならびに活動を特に認めた場合は、「選考委員会特別賞」を贈呈する。

第10回（平成28年）より、贈賞の趣旨を明確にするため「全広連鈴木三郎助大賞」から「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」へ改称。

※当リリースに関する問い合わせは全日本広告連盟（☎03-3569-3566）まで。